

美術館からお願い Visitor Guidelines

傘や大きな荷物は 持ち込まない

作品などにぶつかるおそれがあります。ロッカーや傘立てをご利用ください。折り畳み傘はかばんに入れてください。ロッカーに入らないお荷物は、受付で預りできます。

食べない、飲まない

食べ物や飲み物で作品や施設内を汚したりすると、虫害の危険があります。館内での飲食（ガムや飴を含む）はご遠慮ください。水分補給やお薬を服用される際は、2Fのロビーでお願いいたします。

展示室内は 暗い、寒い、暑い

温湿度の急激な変化や光は作品を劣化させます。これらは作品保護のため、適切な条件で一定に保っています。体温調整できる服装でご観覧ください。

作品にはさわらない

作品が汚れたり、壊れたりするおそれがあるので、作品や展示ケースには決してさわらないでください。展示壁にもたれたり、鉛筆などで指さしたりすることもしないでください。

タバコは吸えません

館内は全面禁煙です。

ほかのお客様にも ご配慮ください。

館内を走り回ると、作品にぶつかったり、すべったりするおそれがあります。また、ソファで寝そべる行為や飲酒されての観覧はご遠慮ください。

撮影は ご遠慮ください

作品保護や著作権上の理由から、写真（静止画）および動画の撮影はお断りしています。（ただし、関係者・報道機関が主催者の許可のもと撮影をする場合があります。）

メモなどは鉛筆で

ボールペン、万年筆などインクが出る筆記具やシャープペンシルは、インクや芯が飛んで作品を汚したり、ペン先で傷つけたりするおそれがあるので、必ず鉛筆でお願いいたします。鉛筆は受付で貸出できます。

動物、植物は 持ち込まない

作品をカビや害虫から守るため、動物や生花等の植物は持ち込みできません。ただし、身体障がい者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）は入館可能です。

大きな声や音に ご注意ください

館内は音が響きやすい構造となっています。会話の際は声の大きさにご配慮ください。また、音の出やすい持ち物や履物はお控えください。

携帯電話・スマートフォンなどについて

ほかのお客様のご迷惑になりますので、展示室内での携帯電話など電子機器のご利用はお控えください。なお、マナーモードに設定し、通話やメールはご遠慮ください。

地震や火事などの 緊急時には

安全のため、必ず係員の指示に従って、あわてず行動してください。